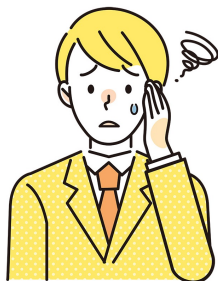


地域包括ケア、地域共生社会を担当する基礎自治体・都道府県職員の皆さん こんなこと感じていませんか？



- ・いろいろな事業を行っているが、うまくいっている手応えがない
- ・前任から引き継がれた目の前の事業が、そもそも何のためにやっているのかわからない
- ・地域の関係者が思うように動いてくれない
- ・現状の行き詰まり感を打破したいという想いはあるが、目の前の事業の実施で手一杯
- ・このままではいけないという危機感はあるが、どこから手をつけていいのかわからない

アジャイルPG 地域包括ケア無料相談会

アジャイルPG 地域包括ケア無料相談会は、地域包括ケア政策の立案に精通した
経験豊富なメンターが、これから何をしていけばよいか迷っている
市町村・都道府県職員の皆さんと一緒に
それぞれの明日からの動きを考えようという企画です

アジャイルPG地域包括ケア無料相談会の実施概要

- ✓ 内容 市町村・都道府県ごとの個別相談。相談内容は自由
 - こんなことを考えているが意見を聞きたい
 - 何を相談したらいいか上手く言えない
 - 何から始めたらよいか分からない といった相談でも可能(例) 市町村：個別の事業、専門職や住民との協働等
都道府県：市町村支援のあり方、研修会の内容
- ✓ 担当 アジャイルプログラムメンター
- ✓ 時間 1回あたり1時間程度
- ✓ 方法 zoomによるオンラインミーティング
- ✓ 日時 個別に日程調整（5月中下旬から6月中旬で調整）
- ✓ 費用 無料



オンラインで！

担当者のみの参加もOK！
まずは、お気軽にご参加ください

詳細はHPをご覧ください

藤田医科大学 アジャイル **検索**



お問合せ



藤田医科大学
FUJITA HEALTH UNIVERSITY

地域包括ケア人材教育支援センター
(地域包括ケア中核センター内)

E-mail: agile@fujita-hu.ac.jp TEL :0562-93-3707 (担当：野々山)

一緒に考えよう！



アジャイルPGとは

厚生労働省老人保健健康増進等事業の一環として事業を実施してきました

<2019年度～2021年度（前身事業）> 「実践型地域づくり人材育成プログラム」
【実施主体】NTT DATA 藤田医科大学

<2022年度～> 「アジャイル型 地域包括ケア政策共創プログラム」
【実施主体】医療経済研究機構 藤田医科大学



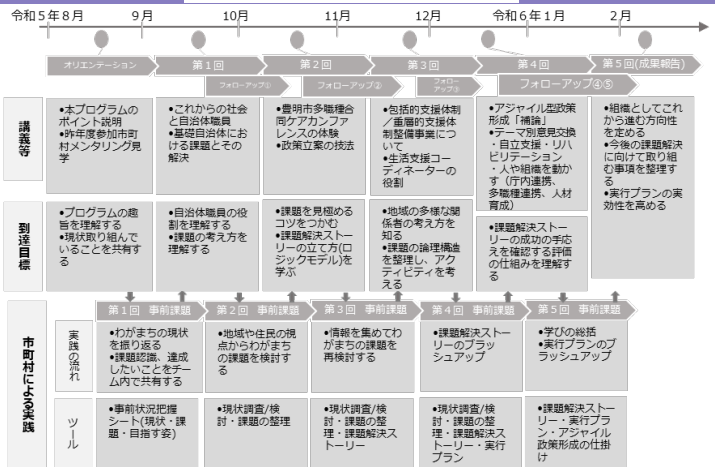
実施各年度で積み重ねてきたノウハウでメンターが自治体職員等に丁寧に寄り添いながら、進むべき道の手助けを、状況に応じてすばやく修正を重ねていく力を、組織内外に浸透させていくプログラムです。

- 自立支援・重度化防止
- 介護予防・リハビリテーション
- 生きがい・社会参加
- 孤立・見守り
- 認知症
- 生活支援
- 多職種連携・人材育成
- ケアラー支援
- 重層的支援
- 地域づくり

参加自治体に向けた個別の支援と併行して、参加者同士の学び合い、交流する場としての政策共創基盤(コミュニティ)づくりも進めています。プログラム終了後も全国各地の自治体職員やメンターほか関係者をつながることで 課題解決、政策のレベルアップなどを図っていきます。

(参考) アジャイル型 地域包括ケア政策共創プログラム2023

プログラム全体の流れ



プログラム顧問・監修

日本社会事業大学専門職大学院 客員教授・元厚生労働省 事務次官 蒲原 基道

昭和57年に厚生省に入省し、大臣官房政策課企画官、大臣官房長、老健局長、事務次官等を歴任。老健局長のときには、平成29年介護保険法改正を行い、地域包括ケアシステムの強化や地域共生社会の実現に尽力。退官後、日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科客員教授、社会福祉法人友愛十字会理事長等に就任。地域共生社会や介護保険、障害福祉政策をテーマに各地で講演を行っている。

プログラムメンター陣(敬称略)

- 亀井 善太郎 (PHP 顧問)
- 岩名 礼介 (三井物産)
- 三原 岳 (ニッセイ)
- 高橋 拓朗 (NTTデータ)
- 都築 晃 (藤田医科大学)
- 池田 寛 (藤田医科大学)
- 服部 真治 (医療経済研究機構)
- 松本 小牧 (島根県)

プログラム参加市町村 (12市町村)

北海道 深川市、秋田県 羽後町、茨城県 つばみらい市、千葉県 千葉市、千葉県 白井市、千葉県 長生村、新潟県 上越市、新潟県 出雲町、愛知県 長久手市、大阪 府 寝屋川市、兵庫県 淡路市、鳥取県 鳥取市

参加者の声 1 白井市 高齢者福祉課 加藤多美 (主任・保健師)

それぞれの思いや、思考プロセスから行動すべきことが明確に見えてくる

チームで意見を話し合ったりメンターからの問いに対してメンバーが語る思いに触れたりする経験を通じて互いの考えを知り互いの理解が深まってきたと感じました。メンタリングとチームでの話し合いを繰り返すことで、やってみようと思えることに辿り着きました。

参加者の声 2 出雲町 保健福祉課 松永佐和子 (係長・社会福祉士)

立ち止まらず行動することで望む結果を導く、アジャイル型を実感

PGに参加して自分の物事への考え方が変わりました。「なぜ」と掘り下げることは分析しようと思ってるのではなく気付いたらしているようになり、望むアウトカムが起きるにはどうしたらいいかと考えて働きかけたりするようになりました。

過去の内容の詳細はHPをご覧ください



藤田医科大学地域包括ケア人材教育支援センターHP
(藤田医科大学地域包括ケア中核センター内)

<https://www.fujita-hu.ac.jp/~chuukaku/kyouikushien/index.html>

